

施策3 家庭、学校・園、地域の連携の推進

1 親育ち支援事業の充実（教育推進課）

<現状と課題>

子育て中の保護者は、核家族や共働き家庭の増加、近所付き合いの減少などを背景として、相談相手や保護者間の交流が減少している状況です。子育て中の保護者が孤立するのを防ぎ、親育ち支援を充実させる必要があります。

<施策の方向性>

- ・親が育ち、親子の良好な関係を築くために、親育ちの講座及び講演会への参加を進めていきます。
- ・各種団体及び地域と連携して、親子体験や交流事業を実施することで、保護者間の交流を進めます。

<具体的な取り組み>

- ① 子育てを行う保護者を支援する、親育ち4・3・6・3たじみプランの推進
- ② 次世代育成フロアの特性と親子ひろばを活用した子育て支援事業の推進

<計画の成果目標>

成果指標	現状（令和4年度）		目標（令和9年度）	
各学校のPTA家庭教育学級の参加率	幼稚園	83.3%	幼稚園	85%
	小学校	50.7%	小学校	65%
	中学校	60.5%	中学校	65%
	※令和3年度データ			

2 青少年健全育成事業の推進（教育推進課）

<現状と課題>

青少年健全育成事業として、「わたしの主張大会」及び「青少年まちづくり市民大会」を開催しており、家庭、学校、地域が連携する活動として重要な役割を果たしています。

この2つの大きな活動及び校区で実施する活動が子どもに成長する機会を与える場となることが重要です。

<施策の方向性>

- ・家庭、学校、地域がそれぞれの役割と責任を果たしながら、連携協力して児童生徒の成長を支えていきます。
- ・青少年健全育成事業では、児童生徒が主体的に取り組み、協働して達成する機会をつくります。
- ・各校区の活動について情報交流を実施し、活動の活性化を図ります。

<具体的な取り組み>

- ① 青少年まちづくり市民会議が行う催しへの児童生徒の主体的な参画及び参加を推進
- ② 各校区の青少年まちづくり市民会議の情報交流による活動の充実

<計画の成果目標>

成果指標	現状（令和4年度）	目標（令和9年度）
青少年まちづくり市民会議が行う活動にスタッフとして参加した児童生徒の数	調査中	
校区の青少年まちづくり市民会議の活動について情報交流する機会を設ける	年度末（3月）に実績報告を提出し情報交流している	年2回（9月、3月）、情報交流することで後半の活動に活かす

3 学校運営協議会の活性化（教育推進課）

<現状と課題>

各地域では、学校教育を支えるために、登下校時の見守り活動、読書活動支援、地域の交流行事等を実施しています。この地域による支援を継続していくために、家庭、学校・幼稚園・保育園、地域が連携し情報交換することが重要です。そこで、学校運営協議会を全小中学校に設置し、保護者や地域住民がそれぞれの役割を果たしながら、互いに連携して子ども達を支え育んでいく必要があります。

<施策の方向性>

- ・学校運営に対し、保護者や地域住民の参画を促進するような制度を構築することと開かれた学校をめざします。
- ・地域における教育課題を解決するために、家庭、学校・幼稚園・保育園、地域が協働して取り組み、社会全体で子どもを育てていきます。

<具体的な取り組み>

- ① 全小中学校に学校運営協議会を設置し、家庭、学校、地域の連携を推進
- ② 学校運営協議会を活用し、保護者や地域住民の学校運営参画を推進

<計画の成果目標>

成果指標	現状（令和4年度）	目標（令和9年度）
学校運営協議会の設置数	小中学校 21 校中 10 校 設置	全小中学校設置

4 各種団体と連携したジュニアクラブの推進（教育推進課）

<現状と課題>

児童生徒の減少に伴い、一部の部活動の存続の危機及びジュニアクラブ加入者の低下がおきています。中学生を対象とした部活動やジュニアクラブの在り方の検討から、ジュニア期を含めた幅広い年齢層を視野に入れた対策が必要となってきました。

<施策の方向性>

スポーツ協会や文化振興事業団等へ協力を要請し、普及活動、強化活動、指導者養成を実施していきます。また、幅広い年齢層を視野に入れた生涯スポーツを推進するため、関係課と検討会議を設け、今後のスポーツ振興を総合的に進めていきます。

<具体的な取り組み>

- ① 中学校の部活動・ジュニアクラブ活動の推進
- ② 各種団体等の連携によるスポーツ及び文化活動の機会の拡充

<計画の成果目標>

成果指標	現状（令和4年度）	目標（令和9年度）
クラブ（民間クラブを含む）加入率	51.4%	60%
ジュニアクラブ加入率	39.2%	50%